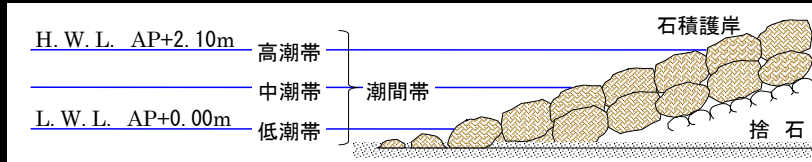


その他のモニタリング調査結果

1. 生物調査

1-1 2工区の状況



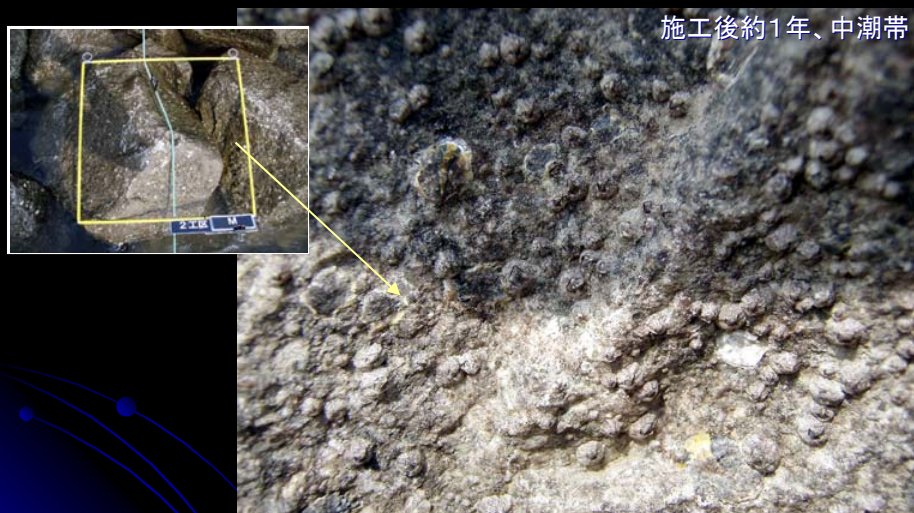
潮間帯動物の確認状況

種類数/0.25㎡

	施工前 春季 H19年4月 (直立護岸)	約1ヶ月後 夏季 H19年8月 (石積護岸)
高潮帯	7種: タテマイソギンチャク、タマキビガイ、 カラマツガイ、ムラサキガイ、マガキ、 イワフジツボ、シロスジツボ	2種: マガキ、シロスジツボ
中潮帯	5種: 尋常海面綱、タマキビガイ、イボニシ、 マガキ、ヤドカリ類	5種: イボニシ、マガキ、シロスジツボ、 タテマフジツボ、ケフサイソガニ
低潮帯	4種: アラムシロガイ、マガキ、ヤドカリ類、 ケフサイソガニ	5種: シマノウネガイ、イボニシ、アラムシロガイ、 マガキ、ヤドカリ類

43

2工区潮間帯の状況



施工後約1年、中潮帯

捨て石上に付着するイワフジツボ、マガキ(中潮帯)

マガキは被度5%程度で付着するが、付着初期であり、殻長1~2cmの小型個体が大部分を占める。

44

1-2 1工区(乱積部)の状況

潮間帯動物の確認状況

種類数/0.25m²

	約1ヶ月後、夏季 H19年8月 (石積護岸・乱積み)
高潮帯	1種: タテジマフジツボ
中潮帯	4種: マガキ、イワフジツボ、シロスジフジツボ、 タテジマフジツボ
低潮帯	5種: イボニシ、トゲアメフラシ、マガキ、シロスジフジツボ、 ヤドカリ類

施工後約1ヶ月では、高潮帯は、タテジマフジツボのみ。
中潮帯、低潮帯は、工事前と同水準の種類数が確認されている。

45

1工区(乱積部)潮間帯の状況



施工後約1月、中潮帯
石積上に着生するシロスジ
フジツボ(中潮帯)



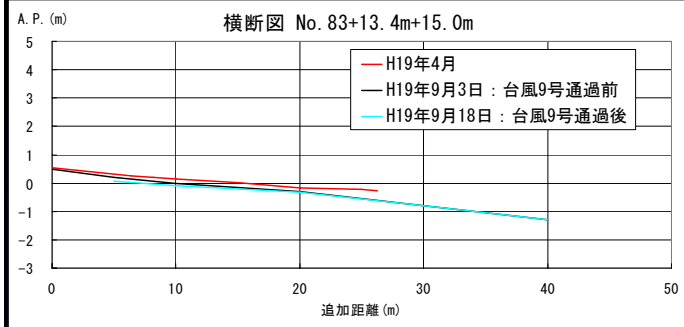
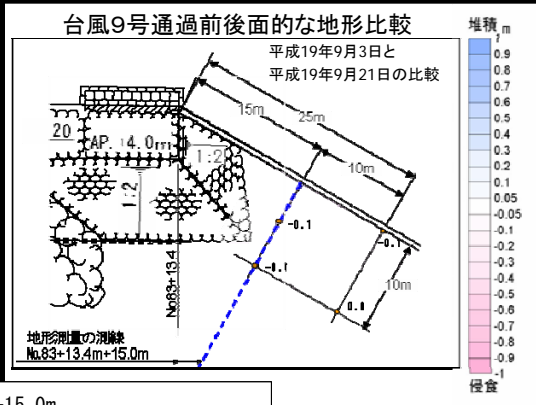
石積間に生息する
イボニシ、スジエビ
(低潮帯)



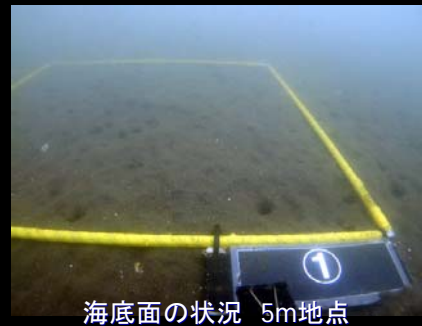
施工後約1月、低潮帯

46

1-3 1工区、東側端部の状況(海底地形)



1工区東側端部の海底状況



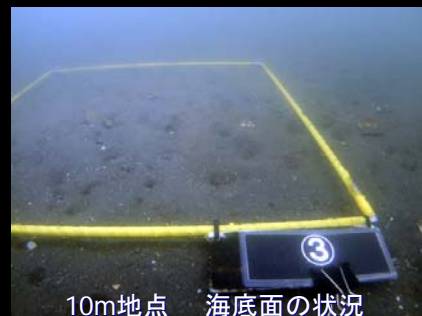
5m地点 海底面の状況 (細砂を中心とした底質が広がる)



5m地点 アサリとアラムシロガイ



10m地点 ホンビノスガイ



10m地点 海底面の状況 (細砂を中心とした底質が広がる)

写真は、いずれも平成19年8月撮影